

表1. 2019/2020シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2020/01/08, 2020/06/30修正

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬			M2阻害薬	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬			M2阻害薬	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	0	12 <sup>a</sup> (2.1%)	12 <sup>a</sup> (2.1%)	0	0	10 (100%)	0	0	0	0	0	5 (100%)	0	0	0	0	0
解析株数	177	565	565	125	125	10	16	10	10	10	10	5	2	8	8	8	8
分離・検出報告数	1,396						54						39				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

<sup>a</sup> うち薬剤未投与例 8、薬剤投与例 4